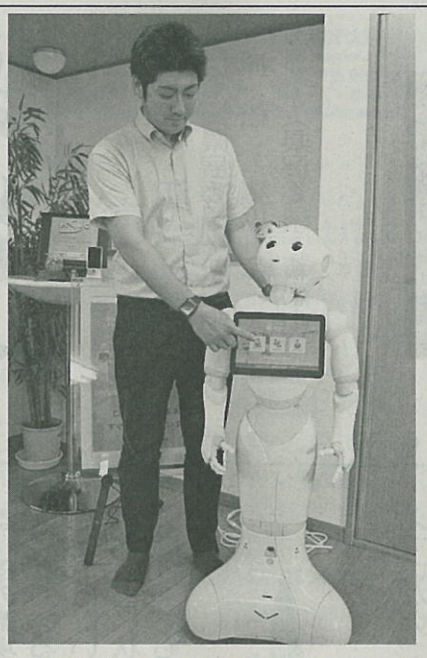
来訪者応対アプリ開発

人型ロボ「ペッパー」用

アイビーシステム（新潟）

システム開発のアイビーシステム（新潟市北区）は、ソフトバンク（東京）が先月発売した人型ロボット「Pepper（ペッパー）」を使い、来訪者の受け付け応対ができる専用アプリを開発した。企業の利用を想定しており、話題のロボット導入で企業のイメージアップに役立ててもらう狙いだ。



アイビーシステムが開発したアプリを搭載したペッパー＝新潟市北区

ソフトバンクによると、ペッパー対応アプリの開発は県内で初めて。ペッパーは高さ約120センチ、重さ29キロ。マイクやセンサーで人の感情を読み取り、頭や手を動かしたり会話したりできるのが特長のロボット。

ペッパーが来訪者を認識すると、「こんにちは」「いらっしゃいませ」などと話しかけ、搭載されたディスプレーに社内の部署と所属する社員を表示する。来訪者が訪問相手を選び、ディスプレーに触れるとWiFi（ワイファイ）経由で社員のスマートフォンなどに接続し、来訪者がペッパーに話しかけると社員と会話できるという仕組みだ。

アプリの利用料は月額8千円。初期費用としてペッパーの購入費19万8千円がかかる。そのほか修理などの保険料9800円とアプリの通信料1万4800円が毎月必要となる。アプリはアイビーシステムにペッパーを持ち込んでインストールする。

アイビーシステムはペッパー用アプリを先行開発することで企業などの需要を取り込み、ほかのアプリ開発にも役立てる。8月をめどに、ペッパーを使ってくじ引きや抽選会などができるアプリを開発する予定で、イベントや展示会用に貸し出すペッパーも導入する考えだ。

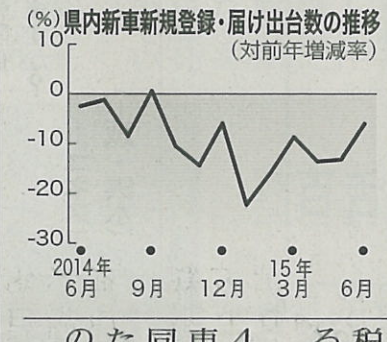
アイビーシステムの若桑茂社長は「ペッパーが対応すれば来訪者の印象に残り、宣伝効果がある。今後もさまざまなアプリを開発したい」と話している。

9カ月連続 前年下回る

6月新車登録 軽自動車の減響く

北陸信越運輸局新潟運輸支局が発表した6月の新車新規登録・届け出台数は前年同月比6・0％減の9799台で、9カ月連続して前年を下回った。軽自動車税の増税に伴う軽自動車の買い控えが続いており、軽自動車の台数が同17・4％減となったことが響いた。

軽自動車は4414台で、9カ月連続で減少した。このうち乗用車は同20・3％減の3379台、貨物車は同6・4％減の968台、二輪車は同8台減の52台だった。



登録自動車は同5・9％増の5262台。10カ月ぶりの増加となり、消費税増税の影響から回復しつつある。

乗用車は同9・1％増の4353台となった。普通車が同7・4％、小型車が同10・5％それぞれ増加した。貨物車は同9・6％減の741台だった。

小型二輪車は同19台増の123台だった。

県内ディーラーは「軽自動車は新型車が少ないこともあり、市場が動いていない。登録車の新型車を中心に売り込み、好転させたい」と話した。

ビジネスプラン 若さで挑め

第四銀と新大 初のコンテスト開催へ

第四銀行（新潟市中央区）は新潟大学と共同で、学生を対象とした「ビジネスプランコンテスト」を初めて開催する。学生の起業家精神を高めることなどが目的で、同行は「学生らしい視点による、自由な発想で応募を」と呼び掛けている。

第四銀と新大が進める産学連携の取り組みの一環。将来的な起業を条件にはしていないが、ビジネスプランの概要や商品・サービスの内容、類似ビジネスとの違い、販売方法や資金計画などを具体的に問う。

書類選考とプレゼンテーションによる最終選考があり、審査員は新大や第四銀の関係者、外部機関の専門家らが務める。グランプリ（1点）には副賞として20万円が、特別賞（2点）には同10万円、優秀賞（2点程度）には同3万円が贈られる。第四銀のホームページからエントリーシートをダウンロードして必要事項を記入し、10月5日までに申し込む。最終選考は11月28日の予定。8月7日に新大で事前説明会を開く。問い合わせは同行、025（229）8180。

通販好調で増収

ツインバード 第1四半期決算

ツインバード工業（燕市）は14日、2016年2月期第1四半期（15年3月～5月）の連結決算を発表し

偏光フィルム製造のポラテクノ（上越市板倉区）の新社長に6月、副社長だった森田博美氏（64）が就任した。同社は耐久性の高い偏光フィルムなど業界大手が手掛けない製品で業績を伸ばし、2015年3月期は過去最高益を記録した。さらなる成長に向けた戦略を森田

博美さん

めには第3の柱を育てる必要があると考えている」

「現時点では、どの分野に進出するかは具体的に決まっていないが、全く未知のフィールドに乗り出すことはない。既存の技術やノウハウをアメーバのように広げて製品開発につなげるのが現実

―現状での課題は何ですか。

「車載用計器の液晶ディスプレーに使われる偏光フィルムの需要は順調に推移しており、この分野を一層伸ばしていくことが当面の重点目標になる。車の運転は自動化の時代を迎えようとしており、その鍵とセンサー。カメラやセンサーに入る光は調整が必要で、偏光フィルムの用途はさらに広がるはずだ」

―収益面での目標は。

「18年3月期に売上高300億円を達成したい。細分化が進む顧客の要望に応えるのは大変だが、ニッチな分野にこそ

る。同時にコスト削減も進める。工場に作業を自動化できるロボットを導入して少人数化を図りたい。既に設備の検討をメーカーに依頼している。生産工程の内製化も、私がイメージする水準には達していないので、さらに加速させる」

が大きく寄与し、売上高は前年同期比13・9％増の35億1100万円の増収となった。

円安の影響で海外生産している製品の調達コストが上昇したことから、営業利益は同48・4％減り6[illegible]

新潟と長岡でM&Aセミナー

北越銀、24日締め切り

北越銀行（長岡市）は、企業の合併・買収（M&A）について考えるセミナー「M&Aを活用した企業の成功と幸せ」を、28日に新潟市中央区の朱鷺メッセ、29日に長岡市のアオーレ長岡で開く。

全国で友好的M&Aを支援している「日本M&Aセンター」の役員が、最新の具体的事例も交えて成功のためのポイントなどを紹介する。

両日とも午後2～4時で、その後に個別相談会がある。参加無料。企業のオーナーや経営企画担当者らが対象で、両会場とも定員は先着100人。問合

投資家向け社債 東北電23日発行

東北電力（仙台市）は14日、機関投資家向けに10年債200億円を発行すると発表した。利率は年0・803％。発行日は23日。調達した資金は設備投資や社債の償還に充てる。

情報ボックス

デビュー

■オレンジ使ったクレープ

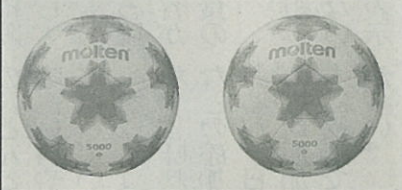
モンテール（東京）は、洋生菓子「手巻きクレープ・瀬戸内オレンジとチーズ」＝写真＝を7月末までの期間限定で発売した。しっとりしたクレープの中に瀬戸内海周辺で採れたオレンジのペーストと、チーズクリームが入っている。さっぱりした夏向きの味わいに仕上げたという。希望小売価格は140円。問い合わせは通話無料のお客様相談室、（0120）468823。

■シジミだしのカップ麺

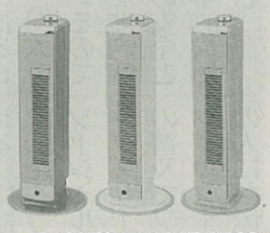
日清食品はカップ麺「日清麺職人　香るしじみだし醤油」＝写真＝を20日に発売する。シジミのだしを使ったあっさり味のしょうゆスープを、同社が開発したストレート麺に合わせた。スープには、アミノ酸の一種の「オルニチン」がシジミ70個分含まれているという。希望小売価格は194円。問い合わせは通話無料のお客様相談室、（0120）923301。

■天皇杯サッカーの公式球

モルテン（広島市）はサッカーの今季の天皇杯全日本選手権、皇后杯全日本女子選手権用の公式試合球＝写真＝を



発売した。シュートの精度が高まるよう、表面に特殊加工をした。大会のロゴもあしらった。サイズは5号（直径22センチ）で、希望小売価格は1万6200円。問い合わせはモルテングローバルマーケティング、03（3625）8302。

■暖も取れる小型送風機

小泉成器（大阪市）は温風にも切り替えられる縦置きの送風機「ホット＆クール　ミニ」＝写真＝を発売した。高さ52センチ、重さ2.6キロと従来品を小型化し、トイレや脱衣場にも置けるようにした。3段階の風量調節ができ、脱臭機能付き。青、ピンク、白の3色あり、想定価格は1万2744円。問い合わせはお客様相談室、0570（07）5555。